

東京都地域限定特例 通訳案内士認定研修

1月15日から延べ10日間
にわたった地域通訳案内士
の認定研修だが、その修了試
験が2月20日に終わった！
結果は3月中旬に出る。

昨年5月のコラム「団塊
耕志録」では、「TSTiE
ドライバーになろう！」の表
題で、東京ハイヤー・タクシ
ー協会の観光英語対応ドラ
イバーTSTiE(Tokyo
Sightseeing
Taxi in Eng
lish)になりたいと広言
し、8月のコラム「続・TST
iEドライバーになろう」で
は、そのために都内のタクシ
ー会社の定時制乗務員とな
り、東京タクシーセンターの



地理試験等を受験、なんとか
乗務員証を獲得して、東京の
レベルの高い新人乗務員研
修に四苦八苦しながら、TST
iEへの最終関門である

東京都地域限定特例通訳案内
士研修への準備のために
フリリピンのマニラへの短
期語学留学などを報告した。
今回のコラム「続々・TST
iEドライバーになろう」
では、その東京都地域限定特
例通訳案内士研修受講の報
告と、その研修の中で感じた
課題について書いてみたい。

「通訳案内士」の重み

昨年の通訳案内士法の改
正で、1月4日から通訳案内
士の資格が無くてても有料で
通訳ガイドが出来るようにな
った。

清野吉光氏のコラム 第110回

団塊耕志録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学
外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な
職業に従事。1976年 清水市の日の丸交通入社。1980年 静岡市内
の事務機器センターに入社。1982年 システムオリジンを仲間と創業、
専務取締役。1992年 代表取締役社長就任。2000年 ㈱タクシーサ
イト創立、現取締役会長。2007年 タクシーアシスト代表取締役社長に
新任。2016年3月 システムオリジン社長退任。チームネクスト事務局長。



続々・TSTiE ドライバーに なろう

アメーバブログを始めました!
<http://ameblo.jp/ykiyono800>

一方、TSTiEは、20
20年の東京オリンピック・
パラリンピックに向けて、特
区制度を活用してタクシー・
ハイヤー乗務員が有料で通
訳ガイドをできるようにす
るために2015年に創設
された制度で、東京都地域限
定特例通訳案内士認定研修
を終了し、認定試験に合格し
た乗務員をTSTiEドラ
イバーとして認定するとい
うものである。

そしてこの認定研修は、東
京都が主催し、その委託を
受けたTrue Japan
Tour株式会社が実
施している。この会社は国家
資格を持つ通訳案内士のN
PO団体「日本文化体験交流
塾」を母体とした旅行会社で
あり、また通訳案内士の受験
指導、教育機関でもある。
私は、昨年実施された全国
通訳案内士の2次試験で不
合格になったのにも関わら
ず、図々しくもこのNPO団
体に加盟、登録している。加
盟条件が全国通訳案内士の
資格を持っている人だけで
なく、それを目指している人
も加盟できるとあったから
である。

この団体に加盟している
と、通訳案内士の仕事の斡旋
が次々とメールで送られて
きて、手をあげると事務局に
よる審査の上で、一番ふさわ
しい人に仕事が行くという
仕組みである。もちろん私に
は通訳ガイドの実力が無い
ので手をあげないし、あげて
も却下されるであろう。(仮
に手をあげて仕事を獲得し、
料金を受け取っても改正さ
れた通訳案内士法の下では
違法ではない)

ところで改正された通訳
案内士法が成立・施行された
今となっては、このTSTi
Eの存在に意味があるのだ
ろうか？

少なくとも乗務員が有料
で通訳ガイドをするという
点だけを見れば、この特区制
度を利用したTSTiEの
資格がなくても可能である。

しかし、タクシー・ハイヤ
ー運賃に加えて通訳ガイド
料金をいたくためには、そ
れに見合うサービス内容が
必要である。単に英語(外国
語)がしゃべれる乗務員とい
うだけで別途料金という訳
にはいかない。

実際に、東京タクシーセン

ターの資格である English Certificate Driver (ECD) は、「当検定合格者(English Certificate Driver)は、river)は、外国人利用 者に対するタクシー営業の 基本会話、緊急時の対応など 英語でコミュニケーション を取ることが出来る」(東京 タクシーセンター)とあり、 地域限定とは言え、「通訳案 内士」を名乗る以上、この E CDを超える、有料に値する 内実をTSTIEは備えな ければならない。

ブランド化すべき 通訳案内士

業務上の独占権がはずれ、 名称的独占権のみが残され た「通訳案内士」は、自らの 独占的名称をブランド化する 努力にしかその将来は無 いと思う。

世の中のどんなブランド も独占権を与えられている 訳ではなく、自らの製品の質 と歴史によってそのブラン ド(まさに名称的独占権)を 保っている。

「東京都地域限定通訳案内

士」の名称を持つ「TSTIE ドライバー」が、所謂ブラン ド力を持つにはいくつかの 関門が控えていると思う が、日本が持っている「安 全・安心・おもてなし」をベ ースとしたハイヤー・タクシ ー業界の対世界向けブラン ドの重要な一翼を担えるよ う努力しなければいけない と思う。

東京都地域限定 通訳案内士の 研修のレベル

その意味で、この第一の関 門である認定研修のレベル はどうであろうか？

研修テキストは東京ハイ ヤー・タクシー協会の監修の もとにTrue Japan Tour 株式会社 が作成したものだが、少なくとも 東京をガイドする上でベ ースとなる情報が網羅されて いると思う。

また、英語力という点では TOEIC600点以上が 研修参加資格の条件になっ ているが(全国通訳案内士の 英語試験免除の点数は来年 度から900点以上)、通常

のTOEICの点数はリス ニングとリーディング力の 点数で、実は会話力を意味し ない。それでも、タクシー乗 務員の皆さんは、実に多彩な 経歴を持った人が多いので、 参加者の会話力は中々のも のであった。

資格は スタート台に立つ条件

どんな資格試験もそうだ と思うが、資格試験にパスし ただけでは単にスタート台 に立ったに過ぎない。実際に スタートをして業務をこな し、あちこちに頭をぶつけな がら力をつけて行くのが現 実である。

今回の研修で各社の参加 乗務員と話す機会があった が、皆さんの関心はこのTSTIEの資格取得が実際の 仕事にどのよう結び付い て行くのかということであ った。

既にTSTIE資格を取 得している先輩たちの苦言 として、実際の通訳ガイドの 仕事が始ど無く、そのために 自分の通訳ガイド力をブラ ッシュアップする機会も少

ないということがある。

通訳ガイド需要の開拓と TSTIEとのマッチング

その一方で、乗務員の実感 としてはタクシーの通訳ガ イドの需要は結構あるとの ことだった。問題は、その需 要を取り込む窓口とその需 要をTSTIE乗務員に結 び付ける仕組みが無いとい うことだ。

そして、スタート台に立っ たに過ぎないTSTIE資 格取得者が、継続的に勉強を していく機会がなく、また勉 強という点では実際の仕事 が一番有効なのだが、その実 績が少ない。

こうした仕組みは、大手の タクシー会社では自社単独 でできるかもしれないが、中 小の会社ではなかなか大変 なので、そうした仕組み作り を自主的に、乗務員仲間を取 り組んでいこうかという頼 もしい意見も出ている。多 分、ブランドというのはこう した地道な現場の試行錯誤 の蓄積の中で生まれて行く のではないかと思う。

(2018年2月21日記)

10:00 から 20:00 お問い合わせ受付中 ▶ 03-5281-3088

← サイトへGO!

運転の仕事.jp

こんにちは! 運転業界の転職のプロによる求人サイトです。

 **運転のおしごと**

当社での面談・ご紹介からの入職率 87%! 入職からの定着率 100%!! (2017年12月現在)

新サイト・スタートにつき求人広告掲載無料キャンペーン中!!

